

令和4年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 幸和会	代表者	理事長 福本 育馬
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ぶるる	管理者	大谷 光明

法人・事業所の特徴

- ・利用者様の本当の気持ち(ニーズ)を理解し、思いやりのある対応を心掛けています。
- ・利用者様もスタッフも、明るく笑顔でいっぱいの雰囲気作りを目指しています。
- ・職員への研修を充実させて、介護の質の向上を図っています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	3人	地域住民・地域団体	4人	利用者	人	利用者家族	人	地域包括支援センター	人	近隣事業所	人	事業所職員	1人	その他	人	合計	8人
-----	-------	----------	----	-----------	----	-----	---	-------	---	------------	---	-------	---	-------	----	-----	---	----	----

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーや管理者からの情報は共有できていますが、細かな気づきが共有できるようになることが必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の入れ替わりなどがあり、日頃の業務も大変だとは思いますが、自分たちでもわかっているように、気づいたことをしっかりと記録して、皆でより良いケアができるように取り組んでほしいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の気づきが共有できるように、記録に残し、情報を共有できるように取り組んでください。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が安心して過ごせるよう、感染予防対策を行っていきます。</li> <li>・壁面レクなどで、季節を感じられる取り組みが行われています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設は、これからも感染予防対策を行わなければならないし、とても大変な状況だと思いますが、頑張ってもらいたい。</li> </ul>	特になし。
C. 事業所と地域のかかわり	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でのイベントも中止になっており、参加できておりません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でのイベントについても、今のところは様子を見てという判断になると思います。</li> <li>・地域のイベントへの参加は、事業所の判断でという事になるかと思えますので、何とも言えません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設の事をまだまだ知らない住民もいるので、今後、老人会等で、勉強会等を実施していただけたら助かります。</li> </ul>
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	感染症対策を行いながら、地域の感染状況を見ながら、少人数で、あまり人がいないところなどを見つけて、外出等を行い、	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防対策を考えるあまり、外出の機会が少なくなっていたように思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防対策を考えるのは当然のことだと思えますし、高齢者は重度化するので、致し方ないと思えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況を見ながら、三密を避けて、地域の環境に触れる機会を提供してください。</li> </ul>

	地域の環境に触れる機会を提 供する。		これからは、状況を見ながら検討 してください。	
E. 運営推進会議を 活かした取組み	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域からの相談や地域包括からの緊急利用を受け入れています。</li> <li>・地域包括との連携が行われており、虐待の早期発見等に活かされています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待疑いの時点で、早期に相談されています。</li> </ul>	特になし。 今後も地域包括と連携し対応して ください。
F. 事業所の 防災・災害対策	災害時に地域における被害が 少なくなると、事業所として できることを検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震の場合、建物には被害が少 なくとも、中は大変な状況になっ ていると思われれます。</li> <li>・食用の備蓄も利用者・職員の分 しか確保できていません。</li> <li>・水害の場合、1階の利用者は垂 直避難となるので、地域の方を受 け入れるスペースが確保できな いと思われれます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の数には限りがあるの で、職員が対応するのは難しいと 思います。</li> <li>・避難所に連絡ができれば、地域 で協力ができることがあるかも しれません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震の場合、地域の方々の協力 があれば、一時避難所としての対 応は可能かと思えます。</li> </ul>